

嘉麻市バス運行計画の改善に係る 基本的な考え方について

地域活性推進課

令和2年12月

1 市バス運行に係る現状

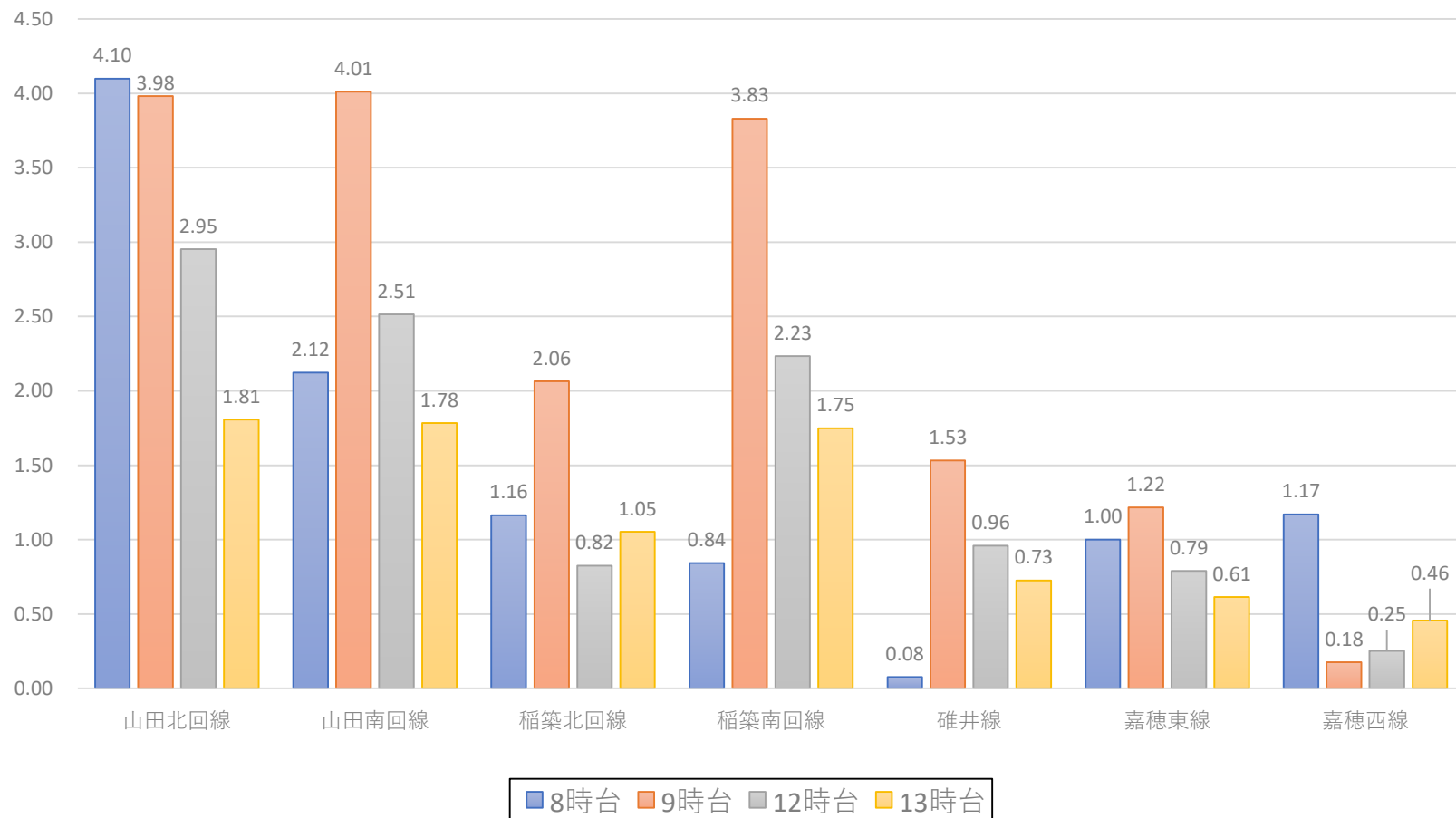
新運行計画に基づく7か月間の利用状況について一覧表にまとめた。幹線路線は一定の利用者が定着している。枝線については、地域差が生じている。

市バス利用者数の現状

路 線 名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	月平均
幹線路線	稲築桂川線	495人	651人	1,428人	1,447人	902人	1,315人	1,570人	7,808人	1,115人
	熊ヶ畑桂川線	2,563人	2,450人	4,185人	3,896人	3,134人	3,388人	3,834人	23,450人	3,350人
	市内循環線（東回り）	435人	604人	1,012人	1,207人	899人	1,081人	1,251人	6,489人	927人
	市内循環線（西回り）	376人	475人	892人	790人	662人	775人	874人	4,844人	692人
	小 計	3,869人	4,180人	7,517人	7,340人	5,597人	6,559人	7,529人	42,591人	6,084人
枝線路線	山田北回線	226人	260人	304人	362人	298人	339人	407人	2,196人	314人
	山田南回線	200人	208人	307人	239人	254人	264人	312人	1,784人	255人
	デマンド（山田）	53人	63人	168人	193人	197人	190人	270人	1,134人	162人
	小 計	479人	531人	779人	794人	749人	793人	989人	5,114人	731人
	嘉穂東線	41人	62人	90人	96人	99人	99人	132人	619人	88人
	嘉穂西線	51人	51人	58人	40人	42人	46人	63人	351人	50人
	デマンド（嘉穂）	131人	161人	159人	144人	104人	136人	140人	975人	139人
	小 計	223人	274人	307人	280人	245人	281人	335人	1,945人	278人
	稲築北回線	55人	47人	129人	154人	151人	159人	178人	873人	125人
	稲築南回線	106人	95人	199人	249人	237人	237人	357人	1,480人	211人
	デマンド（稲築）	54人	48人	65人	82人	58人	53人	75人	435人	62人
	小 計	215人	190人	393人	485人	446人	449人	610人	2,788人	398人
	碓井線	63人	73人	82人	83人	88人	84人	90人	563人	80人
	デマンド（碓井）	51人	56人	42人	71人	66人	69人	142人	497人	71人
	小 計	114人	129人	124人	154人	154人	153人	232人	1,060人	151人
	合 計	1,031人	1,124人	1,603人	1,713人	1,594人	1,676人	2,166人	10,907人	1,558人
総 合 計		4,900人	5,304人	9,120人	9,053人	7,191人	8,235人	9,695人	53,498人	7,642人

(単位：人)

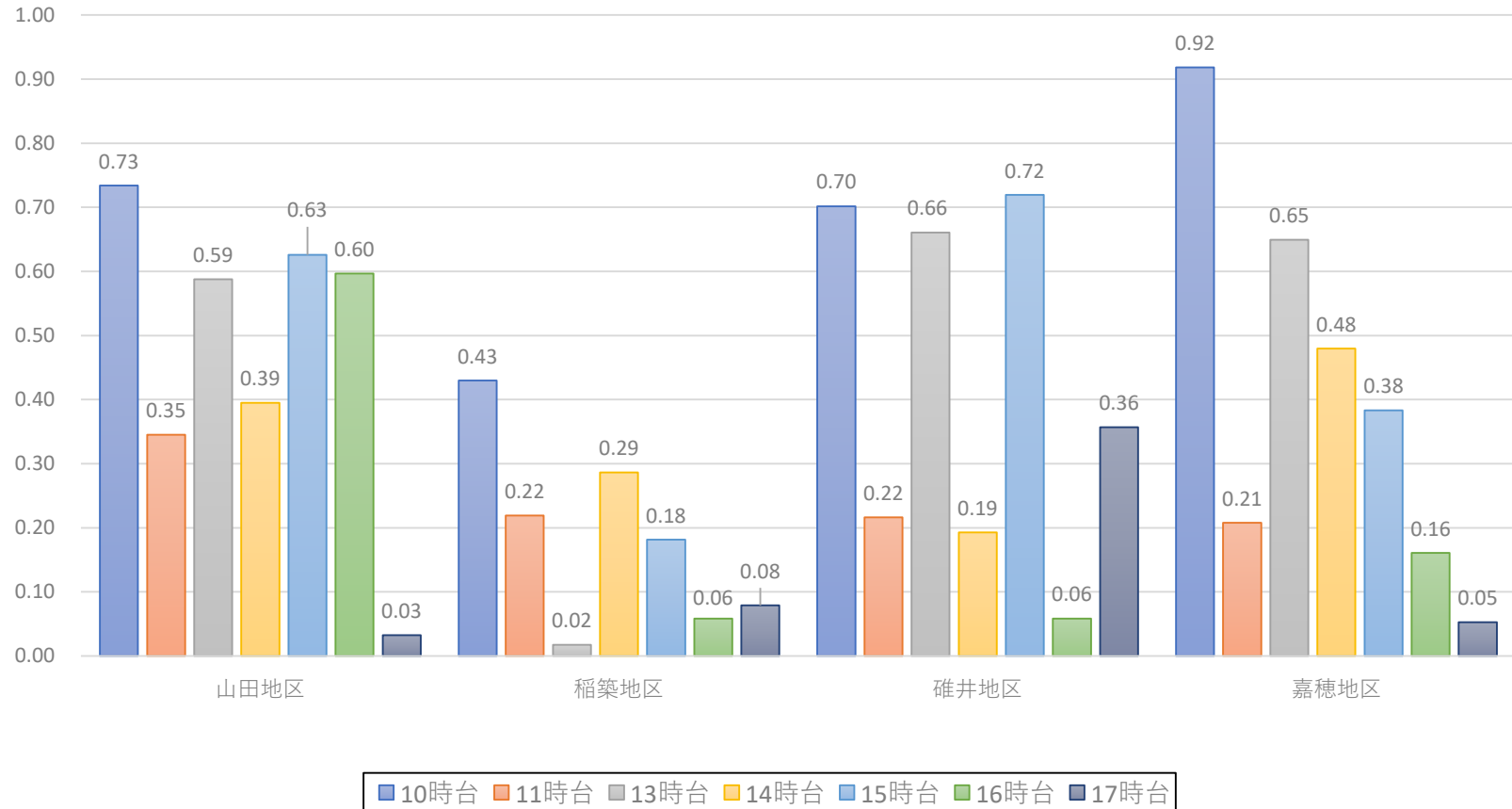
路線定期運行 1 日 1 台当たり時間帯別利用者数



山田地区では両路線で午前中の利用が集中しており、午後の便についても他地区と比較し利用が多い。稲築地区では南回線の利用者が多く、両路線とも午前中にピークが生じている。両地区における特に利用の多い日は10人乗り車両が満席となる状況も生じている。碓井及び嘉穂地区においては、時間帯別で確認してもまとまった利用が生じていない状況である。

デマンド運行型バス 1 日 1 台当たり時間帯別利用者数

(単位：人)



どの地区も 1 1 時台の利用が低下する傾向にある。1 台当たりの利用者としては、嘉穂地区の10時台が0.92人と最も多い状況である。どの地区においても時間当たりの利用者が1台当たり1.0人を超えるところがなく、現状の利用者数においては、各地区とも希望時間付近で乗車できる状況にあり、車両台数としては充足している。

2 アンケート結果等による分析 （市バス利用者アンケート及びデマンド運行型バス利用者アンケート結果参照）

各路線別アンケート結果による評価の状況

路 線 名		利用者月平均値	便利	不便	わからない	評価	備考	
幹線路線	稲築桂川線	1,115人	91%	0%	9%	◎		
	熊ヶ畑桂川線	3,350人	65%	6%	17%	○		
	市内循環線（東・西）	1,535人	62%	13%	19%	○		
枝線路線	山田	路線定期運行	569人	30%	50%	20%	△	
		デマンド	162人	87%	13%	—	◎	
	嘉穂	路線定期運行	138人	43%	43%	14%	△	
		デマンド	139人	50%	50%	—	△	
	稲築	路線定期運行	336人	35%	30%	20%	△	
		デマンド	61人	60%	40%	—	○	
	碓井	路線定期運行	80人	0%	75%	25%	×	
		デマンド	71人	50%	50%	—	△	

【評価の基準 ◎：便利80%以上 ○：便利60%以上 △：不便の割合が高いか同率 ×：不便が60%以上】

【総括】

幹線路線については、不便と回答した割合が少なく、便利の回答がどの路線も過半数を超えている。市内循環線については、運行本数の増便を望む意見に対し、対応可能か検討が必要。

枝線路線については、路線定期運行に対しては便利と答える割合が低下し、運行本数を増やして欲しいとの意見が多い。デマンド運行型バスについては、山田地区を除いて便利と不便が拮抗しているが、全体的に評価が高い状況である（令和2年9月の利用者アンケートでは62%が便利と回答）。デマンド運行型バスにおける不便とする意見は、予約時間、運行区域、運行時間の3点に対する意見が大半を占めている。

3 令和2年度運行計画改善事項の概要

(1) 幹線路線

幹線路線については、アンケート結果からも大きな不満はなく、既存の運行計画をベースに、利用者の少ない時間帯の運行系統や乗換等を踏まえたダイヤなどを改善することで、利便性の向上を図る。

路 線 名		改 善 事 項
幹線路線	稲築桂川線	運行系統の見直し。乗換等を踏まえた運行ダイヤの調整。
	熊ヶ畑桂川線	運行系統・乗換等を踏まえたダイヤの見直し。桂川行きの碓井地内路線変更の検討。
	市内循環線	山田方面からの志耕館通学に支障あり。ダイヤの見直し検討。

(2) 枝線路線（路線定期運行分）

枝線路線の路線定期運行については、運行本数の少なさから増便を要望する意見が多いが、枝線路線の考え方として、基本はデマンド運行をベースに利用の多い時間について路線定期運行を行うとする考え方に基づき、改善案を地区ごとに検討する。

路 線 名		改 善 事 項
枝線路線 （路線定期）	山田北回線	他の路線との乗り継ぎ等に係るダイヤの調整。
	山田南回線	他の路線との乗り継ぎ等に係るダイヤの調整。
	嘉穂東線	利用の少ない区間の路線・運行時間帯の再検討。
	嘉穂西線	利用の少ない区間の路線・運行時間帯の再検討。
	稲築北回線	利用の少ない区間の路線・ダイヤ再検討。
	稲築南回線	利用の少ない区間の路線・ダイヤ再検討。
	碓井線	幹線路線との関係を考慮し路線及びダイヤについて調整。

3 令和2年度運行計画改善事項の概要

(3) 枝線路線（デマンド運行型バス分）

枝線路線のデマンド運行型バスについては、予約対応時間の短縮、運行時間拡大、運行区域拡大の3点などの地区においても改善事項として要望されている。利用者の評価としては、路線定期運行より高評価であることから、デマンド運行型バスのさらなる利便性向上を図るため、可能な限り運用面での改善を図るよう調整を進める。

路 線 名		改 善 事 項
(デマンド 枝線路線 運行分)	山田地区	予約時間の短縮や区域外移動に係る乗継改善等の運用検討
	嘉穂地区	山田地区の改善内容に加え、運行時間帯の変更を検討
	稲築地区	山田地区と同様の改善内容で検討
	碓井地区	山田地区の改善内容に加え、運行時間帯の変更を検討

(4) 実施スケジュール

項目	11月	12月	1月	2月	3月	4月
運行計画案	現状分析・要望整理	運行計画変更案作成	国へ申請書提出			
交通会議	現状報告	運行計画変更案協議				運行開始
運行準備				運行事業者研修、バス停等の整備		
周 知				変更内容の周知（広報・HP・時刻表）		

※ 運行計画の変更については、道路運送法の規定に基づき、嘉麻市地域公共交通会議での協議を経て、国土交通省への許認可申請を行う必要がある。